

令和7年6月

地域・保護者の皆様

水辺の楽校で一緒に活動しませんか ～活動を一緒にしてくださるボランティアの募集～

多摩市水辺の楽校運営協議会長
坪田昌幸

水辺の楽校とは、教育関係者、河川管理者(京浜河川事務所)、市民団体(NPO法人、地域ボランティア)などが連携して、子供たちの河川の利用を促進し、地域における子供たちの体験活動の充実を図ろうとする組織です。多摩川水系には、多摩川源流こすげ水辺の楽校、おうめ水辺の楽校から川を下り、羽田水辺の楽校まで、全21団体の水辺の楽校が活動をしています。多摩市では、多摩市水辺の楽校が2008年6月(H20)に「多摩市子どもの水辺協議会」として発足し、協議を重ね、2010年3月(H22)に「多摩市水辺の楽校」として登録されました。

今年度は、以下の活動を計画しています。

1. 川・水辺に親しむ活動

- (1)川の生きもの調査・観察会
- (2)水質検査
- (3)乞田川の恵み
- (4)冬鳥観察会

2. 学校関係の観察会支援

- (1)永山さえずりの森観察(永山小学校)
- (2)プールヤゴ救出(瓜生小学校)

3. 一ノ宮用水生きもの調査



4. 「総合的な学習の時間」の学校支援

多摩第一小学校、連光寺小学校、多摩第二小学校、東寺方小学校、
多摩第三小学校

5. 環境・消費者イベントへの参加

- (1)多摩市消費生活フォーラム
- (2)多摩エコ・フェスタ



「多摩市水辺の楽校」のご案内(多摩市HP)



多摩市水辺の楽校では、子供たちや市民の体験活動と一緒にバックアップしてくださる川好きなボランティアの皆様を募集しています。一部だけ、または学校の支援活動だけ等の参加も可能です。ぜひ一緒に、川に関心のある市民の居場所づくりや川好きな子供たちを育てていませんか。一緒に活動してくださる方をお待ちしております。

[多摩市水辺の楽校ボランティア申込フォームへ](#)

